

## ロッシーニ《イタリアのトルコ人》初版・初期楽譜（水谷彰良コレクションより）

《*Il turco in Italia*》 - Musica a stampa del primo '800（Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo）

（2011年4月作成。水谷彰良）

### 《イタリアのトルコ人（*Il turco in Italia*）》

2幕のドランマ・ブッフオ・ペル・ムジカ（dramma buffo per musica in due atti）

台本：フェリーチェ・ロマーニ（Felice Romani, 1788-1865）

作曲：ジョアキーノ・ロッシーニ（Gioachino Rossini, 1792-1868）

初演：1814年8月14日、ミラーノ、スカラ座

### 作品について

ロッシーニのオペラ・ブッフアの人気順位では《セビリヤの理髪師》《チェネレントラ》《アルジェのイタリア女》に続くポジションながら、作品の完成度は高く、再評価が進んでいる。台本はフェリーチェ・ロマーニがモーツァルト時代のドレスデン宮廷詩人カテリーノ・マッツォラ（Caterino Mazzola, 1745-1806）の《イタリアのトルコ人（*Il turco in Italia*）》（フランツ・ザイデルマン（Franz Seydelmann, 1748-1806）作曲、1788年ドレスデン初演）から再構成した。主要人物の恋愛と誤解に基づく従来型のオペラ・ブッフアとは異なり、恋する男女を観察する詩人が登場して第三者的視点で人物の心模様と行動を注釈する点がユニークで、アンサンブルの多さも特色の一つとなっている。初演は1814年8月14日にミラーノのスカラ座で行われたが、前年ヴェネツィアで初演した《アルジェのイタリア女》の焼き直しと誤解され、さらに夫を裏切ってトルコ人になびくフィオリッラの役柄に対する反発も相まって不本意な結果に終わった。しかし現在は、時代を先取りする秀作と認められている。

### 1) 初版楽譜（ブライトコプフ&ヘルテル版、1821年頃）

初版楽譜（ヴォーカルスコア）ブライトコプフ&ヘルテル、1821年頃 プレート番号：3427

Spartito riduzione per canto e piano., Breitkopf und Härtel, Leipzig, 1821c. [First edition]

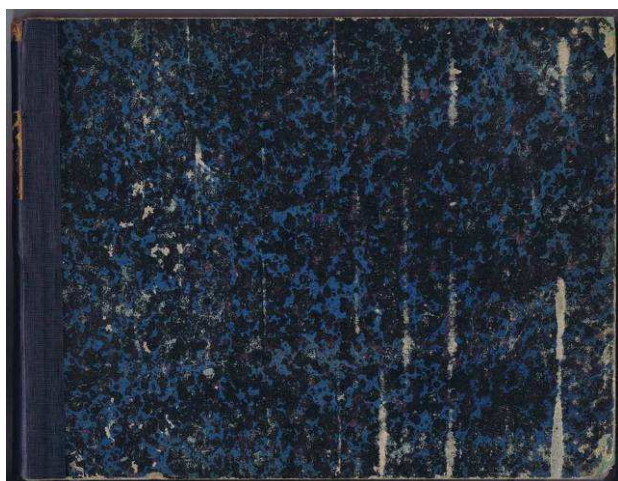
\* 1 spartito ([2], 162 p.) ; 26.3×34 cm, N. di lastra: 3427 [Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

#### タイトル頁記載：

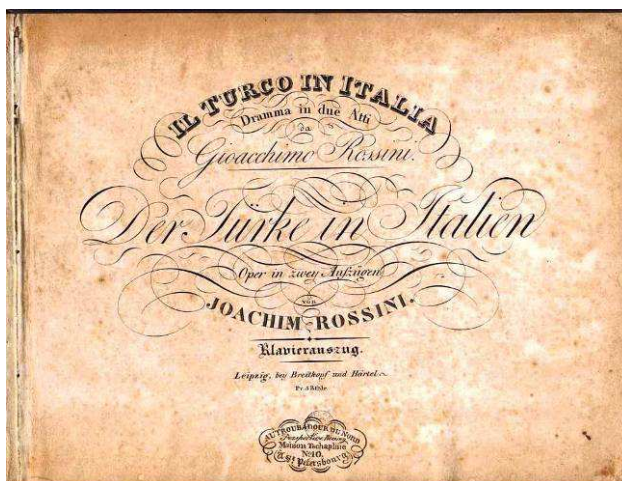
IL TURCO IN ITALIA / Drama in due Atti / da / Gioacchino [sic] Rossini. / Der Türke in Italien / Oper in zwey Aufzügen / von / JOACHIM ROSSINI. Klavirauszug / Leipzig, bey Breitkopf und Härtel. / Pr.5 Bthlr.

#### 概要：

《イタリアのトルコ人》の初版楽譜は1821年頃にライプツィヒのブライトコプフ&ヘルテル（Breitkopf und Härtel）の刊行したヴォーカルスコアで、後述するように同時期にパリのカルリ社とマインツのB.ショット息子社（次項参照）もヴォーカルスコアを出版している（全集版はブライトコプフ&ヘルテル版を初版と認定）。筆者所蔵は背皮のハードカバー装丁で外装27×32cm、頁サイズは26.3×34cm。プレート番号：3427。タイトル頁（裏：無地）と楽譜162頁（pp.1-162）から成り、テキストはイタリア語にドイツ語訳を併記。



外装



タイトル頁（Breitkopf und Härtel, Leipzig, 1821c）



序曲の冒頭頁



第2幕に挿入されたワルツ

ドイツにおける最初の《イタリアのトルコ人》上演は 1816 年にドレスデンで行われ、ミュンヘン (1819 年)、ウィーン (1820 年) と続いた。ブライトコプフ&ヘルテル版は「ロシーニの総譜にかなり忠実」(全集版校註書,p.31.)とされるが、レチタティーヴォ・セッコを欠き、序曲の序奏部もオリジナルと異なる(図版参照)。さらにフィオリッラのカヴァティーナ (N.3-i) が無い代わりにナルチーズの差し替えアリア (N.3bis) を N.4 の前に挿入、アルバザールのアリア (N.12) が無く、合唱 (N.13) と五重唱 (N.14) の間に短いワルツ (Walzer, 主題は第 2 幕フィナーレの最後のセクションから採られている) を持つなど、さまざまな点でオリジナルと異なっている。

## 2) ドイツ初期版 (B.ショット息子版、1821-22 年頃)

初期楽譜(ヴォーカルスコア) B.ショット息子、1821-22 年頃 プレート番号:1673

Spartito riduzione per canto e piano.,B.Schott's Söhne,Mainz,1821-22c.

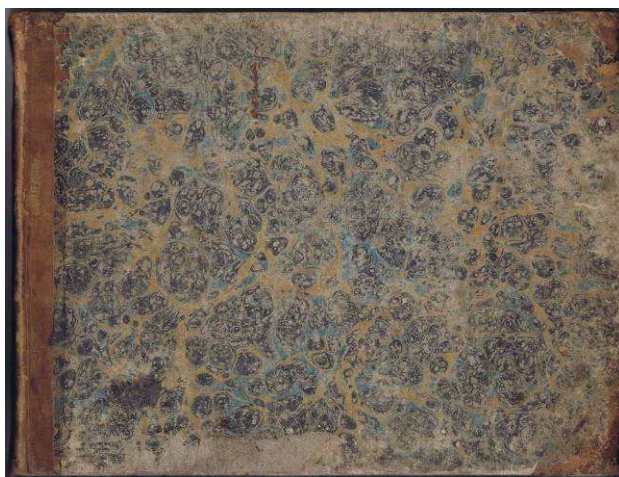
\* 1 spartito ([4],193 p.); 24.5×32 cm, N. di lastra: 1673 [Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

タイトル頁記載:

IL TURCO IN ITALIA / Drama in due Atti / da / Gioacchino Rossini / Magonza presso B.Schott figlÿ. Editore di Musica di S: A: S: il Gran Duca d'Assia. / Proprietà degli Editore [sic] / [a sinistra:] N.o 1673. [a destra:] pr.10 fl.

概要:

ドイツで 2 番目の《イタリアのトルコ人》の楽譜はマインツの B・ショットの息子たち (B.Schott's Söhne) の出版で、筆者所蔵は背皮のハードカバー装丁で外装 25×33cm、頁サイズは 25×33 cm。プレート番号: 1673。楽譜に先立つ 4 頁は、[1]: 第 1 幕のシーンを描いたイラスト付きタイトル頁、[2]:無地、[3]:文字のみの第 2 タイトル頁、[4]:無地からなり、人物表と目次 (p.1)、楽譜 (pp.2-193.) と続く。テキストはイタリア語にドイツ語訳を併記し、楽譜の内容は基本的に前記ブライトコプフ&ヘルテル版と同じである。



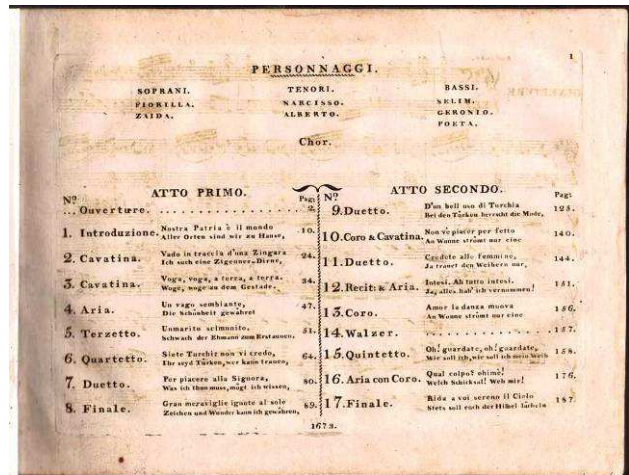
外装



タイトル頁 (B.Schott's Söhne,Mainz,1821-22c.)



第2タイトル頁



人物表と目次 (p.1)



序曲冒頭 (p.1)



シュレザンジェ版のタイトル頁  
(Maurice Schelesinger, Paris, 1824-29c.)

### 3) フランス初期版 (モーリス・シュレザンジェ版、1824-29年頃)

初期楽譜(ヴォーカルスコア) モーリス・シュレザンジェ、1824-29年頃 プレート番号: 1468[Janet et Cotelte]

Spartito riduzione per canto e piano., Maurice Schelesinger, Paris, 1824-29c.

\* 1 spartito ([4], 255 p.); 33.5×25 cm, N. di lastra: 1468 [Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

タイトル頁記載:

IL TURCO IN ITALIA / Opera Buffa / IN DUE ATTI / Composta e ridotta per il / Cembalo / DA / G. ROSSINI / [a sinistra:] Pour Piano solo avec acc.t / Fl. Ou V.on ad libitum: 20 fr [a destra:] Prix: 36 francs. / [nel centro:] A PARIS, / Chez Maurice SCHELESINGER, M.d de Musique du ROI, / Editeur des Opéras de Mozart, Rossini, Meyerbeer, et des Œuvres de Hummel, Moscheles, Mayseder, & a / Rue de Richelieu, N.o 97. / [a sinistra:] Imp. Lithog. de Bove, dirigée par Noël ainé & C.ie

概要:

《イタリアのトルコ人》のフランス初版はパリのカルリ社 (Carli) が 1820-21 年頃に出版したヴォーカルスコアで、1820 年 5 月に行われたパリ初演の内容を反映し、フィオリッラのカヴァティーナ (N.3-i) の代わりにローマ再演用の差し替えアリア (N.3-ia) の移調版を採用、N.4 に先立ち《アルジェのイタリア女》リンドーロのアリアをナルチーズのアリアとして挿入するなど、オリジナルとの間に多数の異同がある (詳細は全集版校註書, pp.32-33 を参照されたい)。

フランスで2番目の楽譜は1824年頃にボワエルデュー社 (Boieldieu) が作成したが、出版前に資産をジャネ&コテル社 (Janet et Cotelle) に売却したため、ジャネ&コテル版として出版された (楽譜部分はボワエルデューの原版を用いて印刷)。同版の音楽内容は、基本的にカルリ版と同じである。筆者所蔵のモーリス・シュレザンジェ版は、ジャネ&コテル版のタイトル頁を差し替えたエディションで、ベルリン生まれの社主モーリツ・アドルフ・シュレージンガー (Moritz Adolf Schlesinger, 1798-1871。フランス名: モーリス・シュレザンジェ Maurice Schlesinger) は、一種の海賊版としてこうした楽譜を販売した。タイトル頁に見られる木版画は、第1幕の四重唱を描いたものである (図版参照)。

**付記: イタリア初版と筆者所蔵の楽曲ピースについて**

《イタリアのトルコ人》のイタリアでの人気が乏しいことから、リコルディ社は数曲の楽曲ピースを出版したのみで、全曲楽譜は1849年まで出版しなかった (Tito di Gio. Ricordi, Milano, 1849. プレート番号 21051-21086)。ちなみにレチタティーヴォ・セッコを含むヴォーカルスコアは、このリコルディ版が最初である。

なお、筆者所蔵の楽曲ピースに1820年代にロンドンで出版された次の2点があり、曲はどちらもドン・ジェローニオとセリムの二重唱〈トルコの良い習慣のことは (D'un bell'uso di Turchia)〉(N.8) である。

- Duetto. 《D'un bell'uso di Turchia》 Birchall & Co., London., s.d. [1823c.], (19 p), N. di lastra: 1383
- Duetto. 《D'un bell'uso di Turchia》 Falkner's Opera Music Warehouse., s.d. [1820s.], (16 p), s.n.

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]



楽曲ピース: Birchall & Co., London., s.d. [1823c.]



Falkner's Opera Music Warehouse., s.d. [1820s.]

**Akira Mizutani**